

ワイヤレスインターホン

DECT準拠方式^(※1)

このたびは本製品をお買い上げいただきありがとうございます。

DWM10A2 移動子機

〈防沫形^(※2)〉

保証書付

電源：リチウムイオン電池（内蔵）
専用充電台付属

ご使用前に取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られるところに保管してください。

・弊社ワイヤレストーク（WCPシリーズ）およびスマートホン（HCシリーズ）とは互換性がありません。

(※1) DECT（Digital Enhanced Cordless Telecommunications）は ETSI（欧州電気通信標準化機構）の商標で、世界で広く普及している無線通信方式のひとつです。

(※2) 防水性能：IPX4（防沫形）ただし充電台は除く

(※3) 本製品には電源スイッチがありませんので、電源を切ることはできません。

お買い上げ時 | 充電と、親機への登録が必要です

充電後、DWM10A2（移動子機）^(※)は登録作業が必要です。
登録作業が済んでいない移動子機は使用できません。
※DWM10A2（移動子機）は、単独では使用できません。



移動子機^(※3)







充電台

もくじ

はじめに	1 ~ 4	設定する	13 ~ 16
安全上のご注意	2 ~ 4	相手の声の大きさを変える（受話音量）	13
ご使用前に	5 ~ 8	着信音と呼出音の大きさを変える	13
各部の名称とはたらき	5	自動応答を設定する	14
本製品について…知っておいていただきたいこと	6	呼出音を変更する	15
準備する	7	電池残量警告音について	16
快適な通話を保つために	8	故障と判断するまえに	17 ~ 18
使いかた	9 ~ 12	仕様	19 ~ 20
移動子機を登録する	9	外形寸法	19
操作する	10 ~ 11	仕様	20
便利な使い方（移動子機を増設した場合）	12		

■セット内容

	 (コード長 1.5m)	
移動子機 【1台】	充電台用 AC アダプター (UV305-0505-JDXA-0007) 【1個】	充電台 【1台】
		
ベルトクリップ 【1個】	取扱説明書 (本書) 【1部】	ご使用になる前に (充電に関する注意書) 【1部】

安全上のご注意

お使いになる方や他の人々への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。本文中に使われている図記号の意味は、次のとおりです。

危険 誤った取り扱いをすると、死亡や重傷を負う危険が切迫して生じる可能性があるもの

警告 誤った取り扱いをすると、死亡や重傷を負うなど重大な結果に結びつく可能性があるもの

注意 誤った取り扱いをすると、傷害または家屋・家財などの損害に結びつく可能性があるもの

	一般的な注意事項		水ぬれ禁止		接触禁止		指示を守る
	一般的な禁止事項		分解禁止		ぬれ手禁止		プラグを抜く

指定の電源で使用する

- ◇必ず付属の専用ACアダプターを使用する。
他の機器のACアダプター等を使用すると火災や感電の原因となります。
- ◇付属の専用ACアダプターはAC100V (50/60Hz)コンセントを使用する。
100V以外のコンセントに差し込むと、火災や感電、故障の原因となります。

次の場所に設置しない

- ◇雨水などがかかる場所
軒下であっても、台風等により雨水が内部に侵入し、故障の原因となります。
- ◇直射日光の当たる場所、熱器具の付近や高温になる場所、湯煙や湿気、ホコリの多い所
火災や感電、故障の原因となります。
- ◇強度の不足する場所、不安定な場所
落ちたりして、けがの原因となります。
- ◇人の通行の妨げになる場所
ACアダプターのコードを引っ掛けたりして、けがや破損の原因となります。
- ◇幼児やお子様手の届く範囲に放置しない
誤ってストラップを首に巻きつけ、窒息を起こす原因となります

異常があるときは、すぐに使用をやめる

次のような異常時は、ACアダプターをコンセントから抜き、販売店・工事店、または弊社カスタマーセンターに連絡してください。

- ◇煙がでる、変な臭いがする
- ◇内部に水や昆虫、物が入った
- ◇異音が出る
- ◇ACアダプターのコードや、本体の外部が破損、劣化
火災、感電、けが、故障の原因となります。

スピーカーを耳にあてない

呼出音や通話音による難聴等の原因となります。
結露した状態で使用しない
故障の原因となります。
結露がとれた後にご使用ください。

ぬれた手でさわらない

雷が鳴り出したら本体やコードに触れない
感電の原因となります。

お手入れの注意

ベンジンやアルコール、シンナー等は使わず、乾いた布で乾拭きしてください。
溶けたり、変形、変色の原因となります。

分解や改造はしない

分解や改造は法律により禁止されていますので、絶対にしないでください。

防水性能について

移動子機は、JIS 保護等級 4(防沫形)相当の防水性能がありますが完全防水構造ではありません。多少の水に濡れても使用できますが、水没した場合は故障の原因となります。なお、充電台と AC アダプターには防水性能はありません。

はじめて

使用前に

使いかた

設定する

故障と判断する前に

仕様



下記のような場所や条件では、人体や医療機器等に影響を与える場合がありますので、取り付けないでください

警告

- ◇病院等の使用を禁止された区域
- ◇医療用電気機器の近く（手術室、集中治療室、CCU等） ※CCU：冠状動脈疾患監視病室
- ◇自動ドア、火災報知機等の自動制御機器の近く
- ◇心臓ペースメーカーの装着部位から22cm以内の位置
誤動作による事故の原因となることがあります。



距離が離れていたり、100m以内でも、間に次のような障害物が存在したり、環境により、電波が弱くなってブツブツ音、通話の途切れが起きて使えないことがあります

注意

- 障害物
 - ・金属製のドアや雨戸（シャッター）
 - ・壁を何枚も隔てたところ
 - ・複層ガラスの窓
 - ・コンクリートやトタン製の壁
 - ・アルミ箔入りの断熱材が入った壁
- 環境
 - ・テレビ、ラジオ、パソコン、FAX、電波式送信機や受信機など電波を発生している家電製品やその他のOA機器が近くにある場所。
 - ・各機器をそれぞれ別の階や家屋などで使う場合。
 - ・テレビ、ラジオ、携帯端末の電波塔が近くにある場合。
 - ・夜間のシャッターの戸締り。
 - ・近くでPHSを使用している場合。

■内蔵のラミネート式リチウムイオン電池に関するご注意

移動子機の本体は、ラミネート式リチウムイオン電池（以下充電電池、またはリチウムイオン電池という）を使用しています。

危険

水・海水・ジュースなどで濡らさない
内蔵の充電電池に組み込まれている保護機構が壊れると、異常な電流、電圧で充電電池がショートし、発熱、破裂、発火の原因となります。

ストーブなどの熱源のそばに放置しない
発熱、破裂、発火の原因となります。

充電には、必ず専用の充電台を使用し、それ以外の方法では充電しない

他の充電器などを使用して充電を行なうと、発熱、破裂、発火の原因となります。

本体を火の中に投入したり、加熱しない
内蔵の充電電池の絶縁物が溶けたり、保護機構を損傷するだけでなく、発熱、破裂、発火の原因となります。

内蔵の充電電池を分解したり、改造したりしない

内蔵の充電電池には異常を防止するための保護機構が組み込まれています。これらを損い充電すると、発熱、破裂、発火の原因となります。

火のそばや炎天下に停めた車中などでの充電はしない

高温になると異常を防止するための保護機構がはたらき充電できなくなったり、保護機構が壊れて異常な電流や電圧で充電され、発熱、破裂、発火の原因となります。



充電端子（本体および充電台）を金属で接続しない、ネックレスやヘアピンなどと一緒を持ち運んだり、保管しない

内蔵の充電電池がショートしたり、過大な電流が流れ、発熱、破裂、発火、あるいはネックレス、ヘアピンなどが発熱する原因となります。



強い衝撃を与えたり、投げつけたりしない

内蔵の充電電池に組み込まれている保護機構が壊れ、異常な電流、電圧で充電電池がショートする可能性があり、発熱、破裂、発火の原因となります。



釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしない

内蔵の充電電池が変形してショートする可能性があり、発熱、破裂、発火の原因となります。



乳幼児の手の届かないところに置く
不用意な取り扱いには危険をとまいます。

電子レンジや高压容器に入れない
急に加熱されたり、密閉状態が壊れたりして発熱、破裂、発火の原因となります。

本体の異常に気付いたら、ただちに使用を中止する

使用中、充電中、保管時に、異臭や発熱、変色、変形など、今までと異なることに気がついたときは、絶対に使用しないでください。そのまま使用続けると、内蔵の充電電池が発熱、破裂、発火の原因となります。

警告

■内蔵のラミネート式リチウムイオン電池に関するご注意（つづき）

充電台に置いて1日経過しても本体の電源ランプが赤色点灯している場合は、ただちに充電を中止する
充電台が発熱、破裂、発火する原因になるおそれがあります。



充電台から異臭がするときは、ただちに火気から遠ざける
漏液した電解液に引火し、破裂、発火する原因となります。



本体から液体が漏液して目に入ったときはすぐに水で洗い、医師の診察を受ける
充電台の電解液が漏液して液が目に入ったときは、こすらずに水道水などのきれいな水で十分洗った後、ただちに医師の治療を受けてください。放置すると液により、目に障害を与える原因となります。



直射日光の当たる場所、炎天下に停めた車中など、高い温度となる場所に放置しない
充電台を漏液させる原因になるおそれがあります。



静電気が発生する場所では使用しない
充電台には、危険防止のため保護機構が組み込まれています。静電気が保護機構に損傷を与え、充電時に発熱、破裂、発火の原因になるおそれがあります。



指定温度範囲以外での充電はしない
充電台の充電温度範囲は0℃～+40℃です。この温度範囲以外での充電は充電台を発熱、破損させる原因になるおそれがあります。



お買い上げ後初めて使用する際に、充電台の異臭、発熱、異常などがあるときは使用しない
お買い求めの販売店、当社営業所、およびカスタマーセンターにご相談ください。



本体から漏液して液が皮膚や衣服に付着した場合は、ただちに水道水などのきれいな水で洗い流す
皮膚がかぶれたりする原因になるおそれがあります。



充電中、可燃物を上に載せたり、覆ったりしない
充電台が発熱、破裂、発火するおそれがあります。



本製品の処理について

内蔵の充電台は、絶対に分解・解体しない



分解・解体すると異臭がし、金属端子が露出し、ショートの原因となります。

●ご使用済みの本製品は一般家庭ゴミとして廃棄せず、下記の「充電台のリサイクルについて」の内容に従って処理してください。捨てられた充電台がゴミ収集車内などで破壊されてショートし、発火・発煙の原因になるおそれがあります。

充電台のリサイクルについて

内蔵のリチウムイオン電池はリサイクル可能な貴重な資源です。なお、充電台はお客様で交換できませんので、使えなくなった本製品は廃棄せず、輸送会社に「リチウムイオン電池」を含んだ内容物であることを伝え、輸送会社の指示にしたがって梱包のうえ、宅配便の配達記録が残る方法にて、下記までご送付ください。当社が責任をもってリサイクルいたします。



■送付時のご注意

- 配送料はお客様の負担となります。着払いでご送付頂いても受領いたしかねます。
- 本製品以外は対象外です。
- 回収対象外品が混入していた場合は、お客様負担にて返送させていただきます。
- 回収品のお引き渡し（輸送会社が受領したとき、または郵便物として集荷されたときを含む）により、回収品の所有権は弊社に転じるものとします。また、回収品のお引き渡し後における回収中止、回収品の返却には応じられません。

〒651-2241 神戸市西区室谷 1-2-2
DXアンテナ株式会社 カスタマーセンター 0120-941-542

〈電池に関するその他のご注意〉

充電台は消耗します。充電方法や使用方法によって、劣化しやすくなります。

- ・ 電池残量が十分にある状態で満充電を繰り返すと劣化を早める原因となります。
- ・ 電池残量なしの状態（本体が動作しない程消費している状態）での放置はしないでください。
- ・ 高温になる場所では、劣化が早くなります。涼しい場所での使用をおすすめします。
- ・ 充電しながら使用すると、充電と放電を短時間で繰り返すこととなり、充電台の寿命が短くなります。
- ・ 長期間（半年以上）お使いにならない場合、電池特性を維持するため半年に一度は満充電することをおすすめします。電池残量なしの状態でも長期間放置すると、充電できなくなる場合があります。

電波について

この製品は、1,895.616 ~ 1,902.528MHz を使用する無線設備です。この製品には 1.9GHz 帯を使用する無線設備で、時分割多元接続方式広帯域デジタルコードレス電話を示す右記のマークが表示されます。（一般社団法人 電波産業会 標準規格「ARIB-STD-T101」準拠）

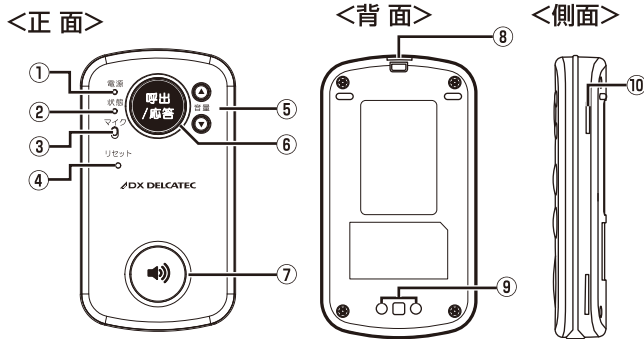
1.9-D

この製品の使用周波数に関するご注意

- この製品の使用周波数帯では、PHS の無線局のほか、異なる種類のデジタルコードレス電話の無線局が運用されています。この製品は同一周波数帯を使用する他の無線局と電波干渉が発生しないように考慮されていますが、万一、この製品から他の無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、ご購入店、当社カスタマーセンターにご連絡いただき、混信回避のための処置等（例えばパーティションの設置等）についてご相談ください。
- この製品を CS デジタル放送を受信している環境で使用する場合、CS デジタル放送のアンテナ伝送路にこの製品の電波が混入（テレビ映像にモザイク状のノイズが発生）する可能性があります。この場合、シールド性の高い衛星放送対応の分波器、接続ケーブルをお使いいただくことで影響を軽減できる場合があります。
- 無線 LAN とは周波数が異なるので混信することはありません。

各部の名称とはたらき

■移動子機

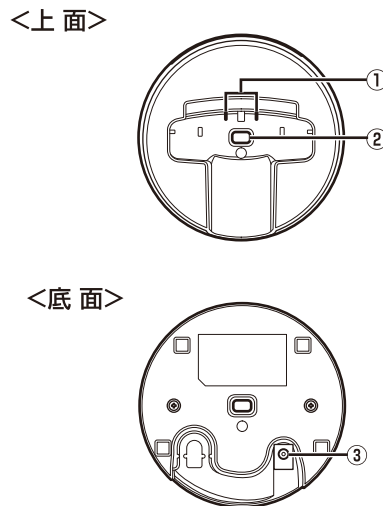


- ① 電源ランプ } 本製品の状態をLEDランプの点灯状態で示します。
② 状態ランプ } 詳しくは「ランプの表示について」(下記)
- ③ マイク } 通話時はこの部分に向かって話します。
- ④ リセットボタン (通常は使用しません)
万一本製品が動作しなくなった場合に、先の細いもので押ししてください(2秒以上長押し)。なお、押ししても登録情報は消去されません。
- ⑤ 音量▲/▼ボタン
音量(受話音量・着信音量)を調節します。
(→操作方法は13ページ)
- ⑥ 呼出/応答ボタン
親機や他の機器を呼び出すとき、または呼出に応じるときに使用します。
- ⑦ スピーカー
呼出音や着信音、通話時の相手の声はここから聞こえます。
- ⑧ ストラップ取付穴
市販の携帯用ストラップなどを取り付けることができます。(→詳しくは7ページ)
- ⑨ 充電端子

ご注意 充電端子への接触注意
ジュースなどの液体や金属が充電端子に接触しないようにご注意ください。故障や感電の原因となります。

- ⑩ ベルトクリップ取付穴
ベルトクリップを取り付けるときに使用します。(→詳しくは7ページ)

■充電台



- ① 充電端子
- ② 水抜き穴
- ③ DC5V 端子
付属品の専用 AC アダプターを接続します。
(→接続方法は7ページ)

■ランプの表示について

電池切れのときは、電源ランプと状態ランプは点灯しません(詳しくは17ページ)

電源ランプ	ランプの表示		機器の状態	ページ	
		消灯		親機と登録済みで待機状態	-
状態ランプ	緑	点灯	充電完了(充電台セット時) (注1)	7	
	赤	点灯	充電中(充電台セット時)/初期化中	7	
	赤	点滅(1秒おき)	親機に登録できていない	9	
	赤	点滅(5秒おき)	電池残量少	16	
	緑/赤	交互に点滅	登録モード	9	
		消灯		待機状態	-
	黄	点灯	呼出中	11	
	黄	点滅(1秒おき)	着信中(注2)	11	
	黄	ゆっくり点滅(2秒おき)	通話中(注2)	11	
	赤	点滅(1秒おき)	親機からの電波が届いていない	8	
赤	点灯	自動応答モード	14		
緑	点滅(1秒おき)	着信中(玄関子機間)	10		
緑	ゆっくり点滅(2秒おき)	通話中(玄関子機間)	10		

(注1) 充電以外の状態は、電源ランプは消灯しています

(注2) 親機間、室内子機間、移動子機間

本製品について…知っておいていただきたいこと

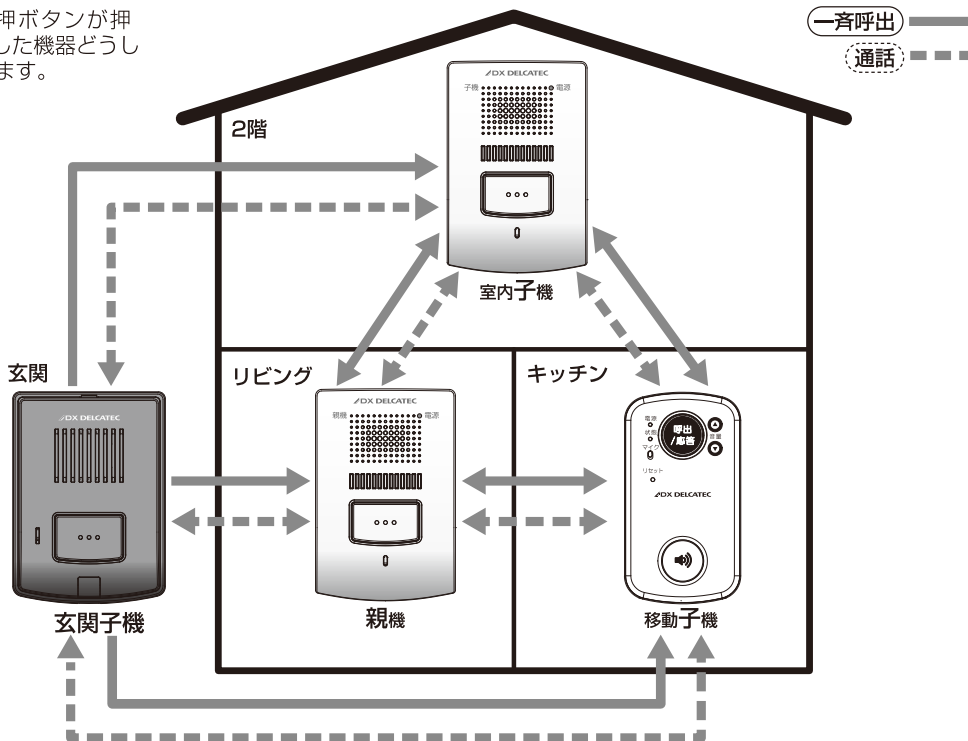
- **通話は1対1**で行いません。(3者以上の同時通話はできません。)
- 1台の親機に対して、**移動子機、玄関子機、室内子機を最大6台まで登録**できます。(注1)
- 移動子機はご使用前に登録作業が必要です。(この作業が完了しないと本製品を使用できません)
 DWP10A2(移動子機)は親機への登録作業が必要です。手順について詳しくは「移動子機を登録する」(→9ページ)をご覧ください。
 DWP10A4 付属の移動子機は親機に登録済みですので登録作業は不要です。
- 1台の移動子機には、**1台の親機にしか登録できません。**
 (すでに登録済みの子機は、別の親機に登録はできません。)
- **移動子機どうし、または室内子機への通話も可能**です。
- 屋内機器(親機、室内子機、移動子機)どうしの通話回線と屋外機器(玄関子機)と別の屋内機器の通話回線が2系統同時に接続できます。(屋内機器どうしは1系統しか通話できません。)
- **すべての呼出や通話は、親機を介して行ないますので、親機の電源が切れたり、親機の電波がさえぎられると、移動子機からの呼出や通話ができなくなります**のでご注意ください。
- **親機の電源が切れたり、親機との電波状態が悪くなると、移動子機の状態ランプが赤点滅(1秒おき)となり、電池の消耗が激しくなります**のでご注意ください。(→16ページ)

(注1) 増設できる親機セットおよび増設できる子機は下記のとおりです。

親機セット	増設可能な子機
玄関子機・親機セット(DWP10A1)	移動子機(DWM10A2)
室内子機・親機セット(DWP10A2)	玄関子機(DWG10A1)
玄関子機・移動子機・親機セット(DWP10A4)	室内子機(DWH10A1)

■使用例(呼出と通話のイメージ)

2カ所で同時に押ボタンが押された場合、押した機器どうしでの通話となります。



注)イラストはイメージです。

各機器を1m以内に近づけるとハウリング(キーンという音)が発生することがあります。その場合、離して使用してください。

ご注意

この製品は、弊社ワイヤレスインターホン(DWPシリーズ)専用の端末です。弊社ワイヤレストーク(WCPシリーズ)およびスマートホン(HCシリーズ)にこの製品を使用することはできません。(互換性がありません)
 DWM10A2はDWP10A1、DWP10A2、DWP10A4の親機に登録して使用してください。

準備する

■充電する

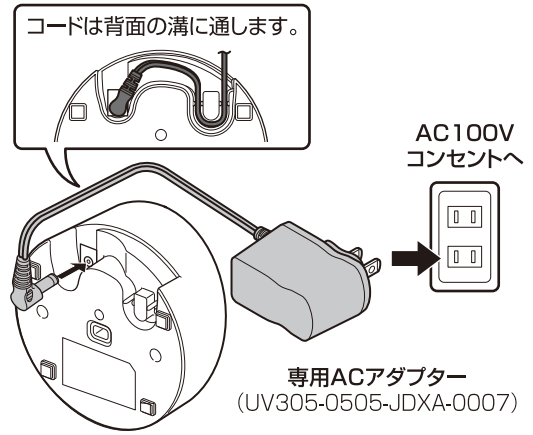
①充電台に AC アダプターをつなぐ

付属の専用 AC アダプター<品番：UV305-0505-JDXA-0007>を、充電台底面の DC 5V端子に奥までしっかり差し込んで接続し、電源プラグをコンセントに差し込みます。お買い上げ時は充電していただかないと使用できませんので、必ず 1 時間以上充電してください。



必ず付属の専用 AC アダプターを使用する

他の機器の AC アダプターを接続すると、故障や感電等の原因となります。



専用ACアダプター (UV305-0505-JDXA-0007)

②移動子機を充電する

移動子機を図の向きにして充電台に「カチッ」と音がするところまで置き、充電します。充電中は電源ランプが赤色に点灯します。充電が完了すると、緑点灯に変わります。

充電機の状態表示

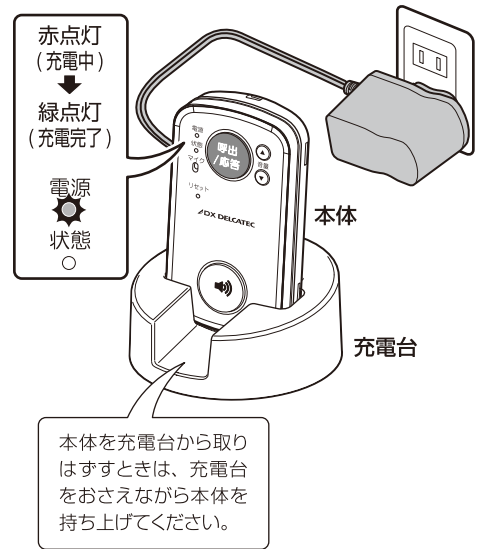
電源ランプの点灯で、移動子機の充電機の状態をお知らせします。

赤点灯	充電中
緑点灯	充電完了(満充電の状態)

※ 移動子機と充電台の充電端子が汚れると、充電できないことがあります。汚れたときは乾いた布や綿棒などで拭き取ってください。

充電の目安：約 3 時間(満充電まで)
使用環境や電池残量によっては早く充電完了する場合がございます。

※ 充電台に置いていても電源ランプがすぐに赤点灯しない場合がありますが、充電台に置いた状態から約5分以内には電源ランプが赤点灯します。赤点灯しない場合は、移動子機を充電台から取りはずして、再度充電台に置いてください。5分以上たっても電源ランプが赤点灯しない場合は、当社カスタマーセンターまでご相談ください。

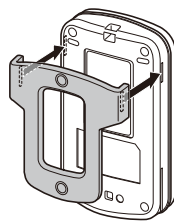


■付属品等を使用する

ベルトクリップを取り付ける

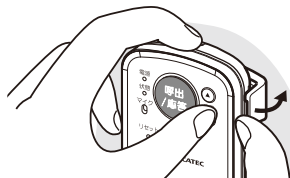
付属のベルトクリップを取り付けてお使いになれます。

(注1)「カチッ」と音がするところまでしっかり取り付けてください。



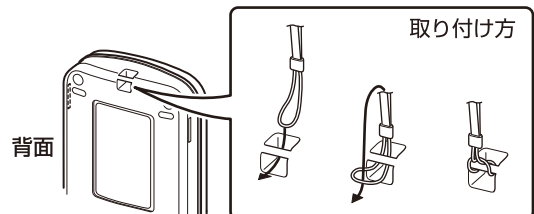
取り付ける(注1)

※ 取りはずす時は、一方の手で本体を押えながら、もう一方の手の指で少し広げてください。



市販のストラップを取り付ける

市販の携帯用ストラップを取り付けてお使いになれます。



はじめに

ご使用前に

使いかた

設定する

故障と判断する前に

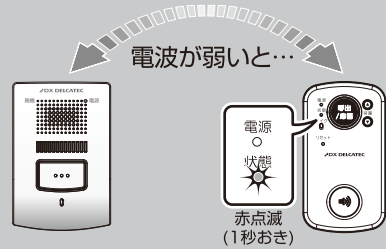
仕様

快適な通話を保つために…

必ず、使用される場所で実際に通話ができることを確認してください。

ご注意 ご使用前に… 親機からの電波は十分届いていますか？

親機・移動子機を使用される場所にて、移動子機の状態ランプが赤点滅しないことを確認してください。赤点滅する場合は親機からの電波が不十分か、親機の電源が切れている可能性があります。まず、親機の電源を確認し、使用場所を変えて、状態ランプが消灯する場所を選んでください。

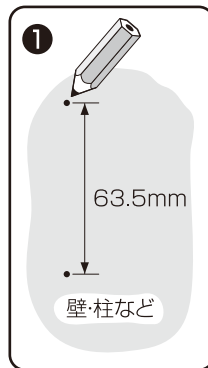


壁などに取り付けてお使いになる場合

本製品は、壁にかけてお使いいただくこともできます。取り付けには市販の木ネジ(3.1×16mm)2本をお使いください。

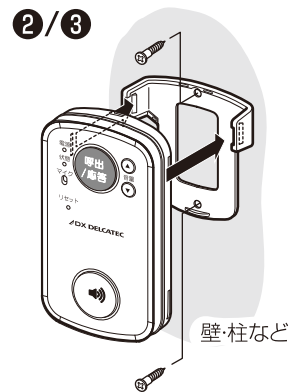
① 取り付ける壁面にネジ穴の印をつけます

取り付ける位置に鉛筆等で印をつけます。



② ベルトクリップを取り付けます

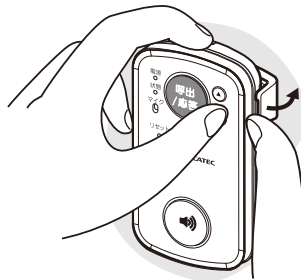
ベルトクリップの2ヶ所の取付穴に、市販の木ネジ(3.1×16mm)2本をしっかりとねじ込み固定します。



③ 移動子機を取り付けます

取り付けたベルトクリップに本体を取り付けます。取り付け後はしっかりと固定されていることを確認してください。

※ 取り外す時は、一方の手で本体を押えながら、もう一方の手の指で少し広げてください。



移動子機を登録する

移動子機を使用する場合は、最初に以下の手順で登録を行なってください。

※複数の移動子機を登録する場合でも、登録作業は1台ずつ行なってください。

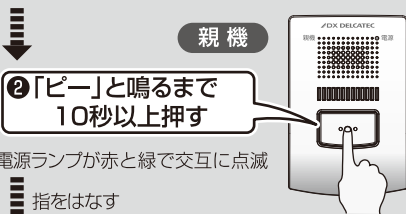
※移動子機の登録は、満充電された状態で行なってください。

●はじめてお使いになるとき*
●登録削除(2.機器の登録を解除する(初期化する))後、再登録するとき
※DWP10A4付属の移動子機は登録済みです。

このようなときに
必要です

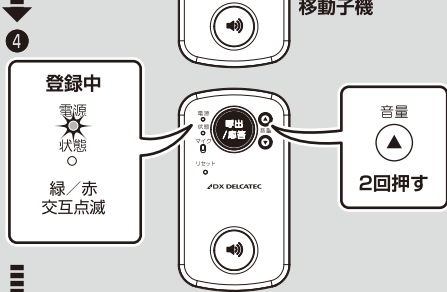
準備	親機と移動子機を手の届く範囲に準備します。 親機ウラ面のセレクトスイッチ「6」を下側にします。	セレクトスイッチ の設定	親機 6 ↓下になっている ことを確認
-----------	--	-----------------	---------------------------

①親機の電源を入れる



電源ランプが赤と緑で交互に点滅

指をはなす



⑤自動で登録作業開始

「ピー」となり、すべてのLEDが消えたら登録完了です。

①親機に電源を供給します。

②親機の押ボタンを「ピー」と音が鳴るまで押し続けます(10秒以上)。

電源ランプが赤と緑で交互に点滅します。

- 登録作業を中断するときは、もう一度押ボタンを押します。
- 登録作業は1分間でキャンセルされますので、その場合はやりなおしてください。

③移動子機の電源ランプが赤点滅(1秒おき)の状態では呼出/応答ボタンを長押し(10秒以上)して、「ブー」と鳴り、電源ランプと状態ランプが黄点灯したら手を離す。

④すべてのランプが点灯している間(10秒以内)に、音量▲ボタンを2回押す。

登録モードになり、自動登録が始まります。

※登録中は、電源ランプが緑/赤交互に点滅します。

※緑/赤交互点滅の状態は約1分で自動的に終了します。

※緑/赤交互点滅中に登録が出来なかった場合は、②に戻ってやりなおしてください。

※登録中は各機器の電源を切らないでください。

※登録を中断するときは、移動子機の呼出/応答ボタンを押します。

⑤登録作業が完了すると、移動子機が「ピー」と音が鳴ります。

通話可能になるまで状態ランプが点滅(1秒おき)します。

- 「ピピピピ」とエラー音が鳴った場合は登録作業が正常に完了しておりませんので、②からやりなおしてください。

- ・「ピピピピ」と鳴った場合 } ⇒②の操作に戻る
- ・子機を続けて登録する場合 }

- ※電源が切れても登録情報は消えません。
- ※複数の親機に登録することはできません。
- ※7台目の登録は、エラー音が鳴って登録できません。

■機器の登録を削除する(初期化する)

登録削除する場合は、以下の手順で行ってください。

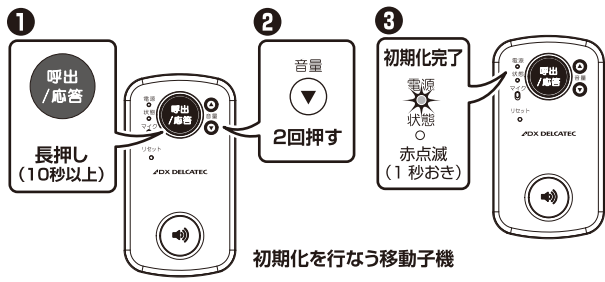
親機に登録されている移動子機の登録情報は、親機で削除する必要があります。

詳しくは、親機の取扱説明書をご確認ください。

親機での登録削除方法は玄関子機・親機セットDWP10A1/
室内子機・親機セットDWP10A2用の取扱説明書をご確認ください。

このようなときに
必要です

- 別の親機に再登録したいとき
- 移動子機を交換する場合で、すでに最大登録台数の6台が登録されているとき
- 親機が複数台あり、各グループの組み合わせを変更したいとき
- 親機で登録解除されたとき



①待機状態から、呼出/応答ボタンを長押し(10秒以上)して、「ブー」と鳴り、電源ランプと状態ランプが黄点灯したら手を離す。

②すべてのランプが点灯している間(10秒以内)に、音量▼ボタンを2回押す。

電源ランプが赤点灯し、「ピー」と音が鳴ります。
移動子機の初期化が始まります。

③初期化が完了すると電源ランプが赤点滅(1秒おき)します。

はじめに

ご使用前に

使いかた

設定する

故障と判断する前に

仕様

操作する

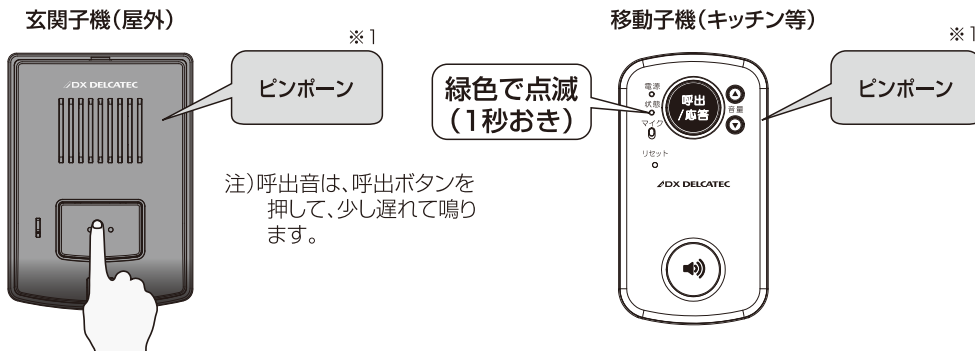
(1) 玄関子機からの呼出・通話

注意) ● 玄関子機は親機と移動子機、室内子機を同時に呼び出します。
(先に呼出ボタンを押した方と玄関子機とが通話できます。)

- 移動子機から玄関子機を呼び出すことはできません。

呼出ボタンは0.5秒以上押してください。

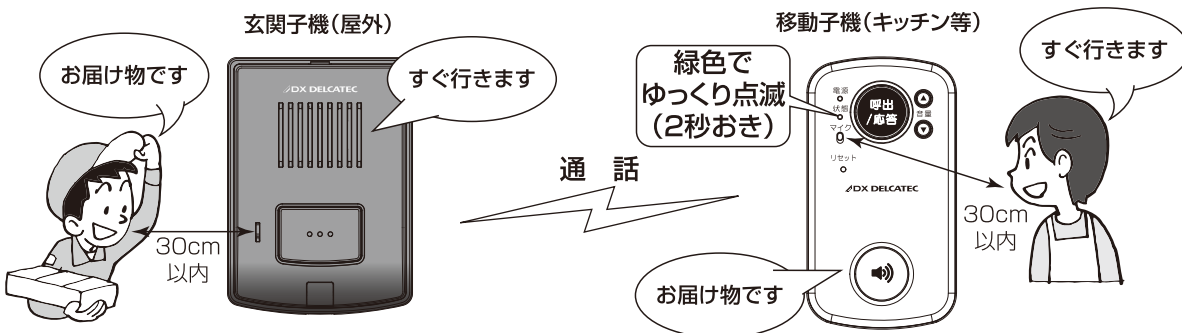
- 電波状況が悪くなると通話中に「ピーピー」と警告音が鳴ることがあります。警告音が鳴らない場所で使用してください。



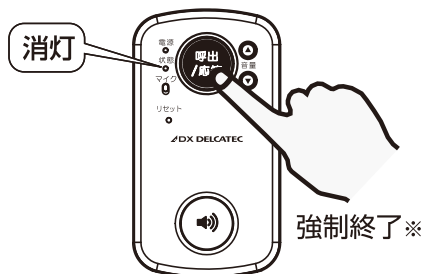
① 玄関子機の呼出ボタンを押す
呼出音(ピンポン)が鳴ります。

② 玄関子機からの呼出信号を受信すると、移動子機より着信音(ピンポン※1)
が鳴り、状態ランプが緑色で点滅します。

※1 玄関子機のセレクトスイッチ3番で選択した音
(ピンポンピンポンまたはピンポン)が鳴ります。



③ 点滅中に移動子機の呼出/応答ボタンを押すと、着信音が鳴り止み、状態ランプが緑色のゆっくり点滅に変わり、
通話ができます。マイクより30cm以内で話してください。



※通話が済んだら強制終了を

強制終了しないと約3分経つまで自動
停止しませんので、屋外に家の中の音が
流れ続けます。通話が終わったら、強制
終了することをおすすめします。
(玄関子機の電池の節約にもなります)

④ 通話が終了しましたら、移動子機の呼出/応答ボタンを押すと**強制終了**となり、玄関子機および移動子機は「待機」状態に戻り
ます。移動子機の状態ランプも消灯します。

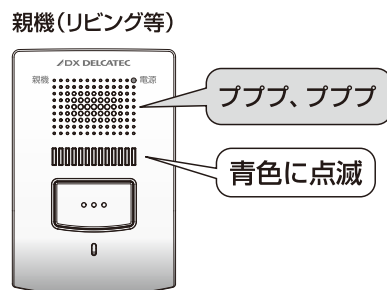
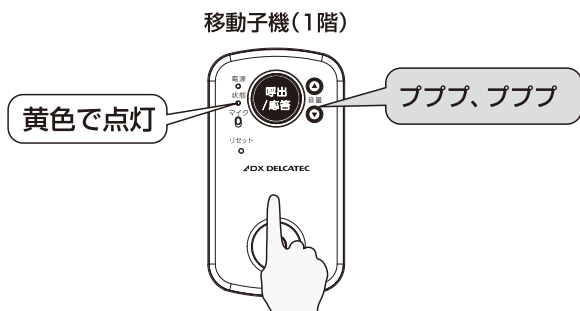
ただし、呼出/応答ボタンを押さなくても通話は約3分間で自動停止し「待機」状態に戻ります。

(自動停止の約15秒前に「ピピピ」とお知らせします)

(2) 移動子機と親機との呼出・通話

- 注意) ● 下記説明は、移動子機から呼び出す場合の説明です。親機や室内子機からの呼び出しに応答する場合も同様に行いません。
- 呼出/応答ボタンは0.5秒以上押してください。
 - 電波状況が悪くなると通話中に「ピーピー」と警告音が鳴ることがあります。警告音が鳴らない場所で使用してください。
 - 移動子機に着信した場合の状態ランプについて(右記)

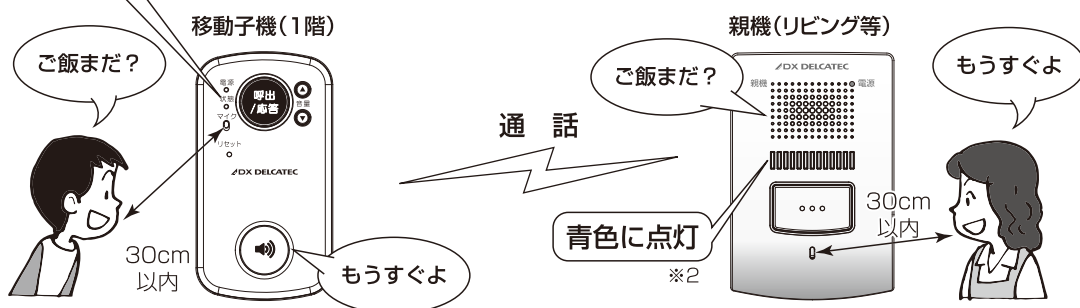
移動子機に着信した場合の状態ランプ表示	
黄点滅(1秒おき)	着信中
ゆっくり黄点滅(2秒おき)	通話中



- ① 移動子機の呼出/応答ボタンを押す。
呼出音(メロディー)が鳴り、状態ランプが黄色に点灯します。
※ 玄関子機以外のすべての屋内機器(親機、移動子機、室内子機)を一齐に呼び出します。

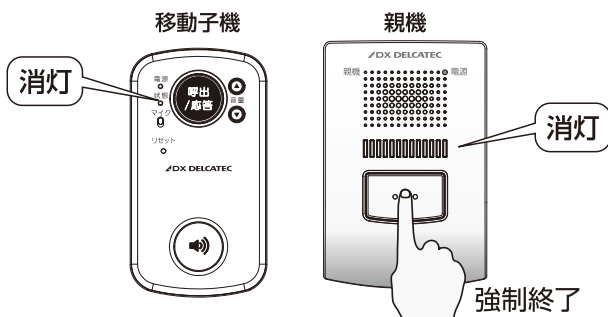
- ② 移動子機からの呼出信号を受信すると、
親機より着信音(メロディー)が鳴り、
呼出・通話ランプが青色に点滅します。

黄色でゆっくり
点滅(2秒おき)



- ※2 移動子機で応答する場合は呼出/応答ボタンを押すと状態ランプが黄色のゆっくり点滅に変わり、通話できます。

- ③ 点滅中に親機の押ボタンを押すと、呼出音が鳴り止め、親機の呼出・通話ランプが点滅から点灯に、移動子機の状態ランプが黄色のゆっくり点滅に変わり、通話できます。マイクより30cm以内で話してください。



- ④ 通話が終了しましたら、呼出/応答ボタンまたは親機の押ボタンを押すと強制終了となり、「待機」状態に戻ります。状態ランプも消灯します。
通話時間は移動子機の電池残量がなくなるまで制限がありませんので、電池の消耗をおさえるためには、どちらかがボタンを押して通話を終了してください。

便利な使い方(移動子機を増設した場合)

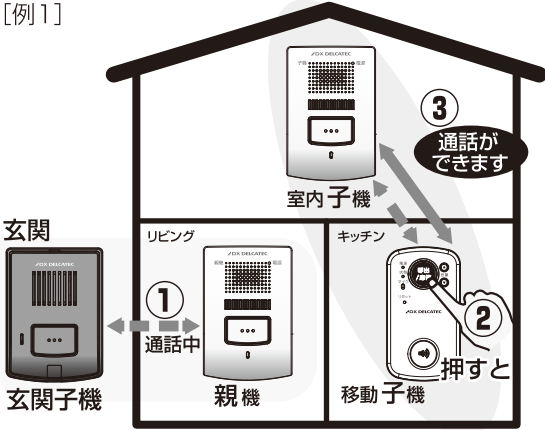
イラスト中の①②③...は、
動作の流れを示しています。



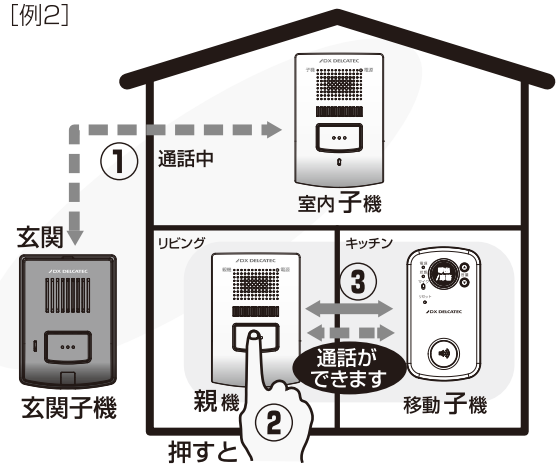
移動子機は充電式で持ち運ぶことができるため、各部屋で使用することができます。
下記のすべての通話は、親機を中継して行いますので、親機の電源がOFFになったり、親機の電波が
さえぎられると、通話ができなくなりますので、ご注意ください。

玄関子機と通話中、残りの親機や室内子機、移動子機間で通話ができます。

[例1]



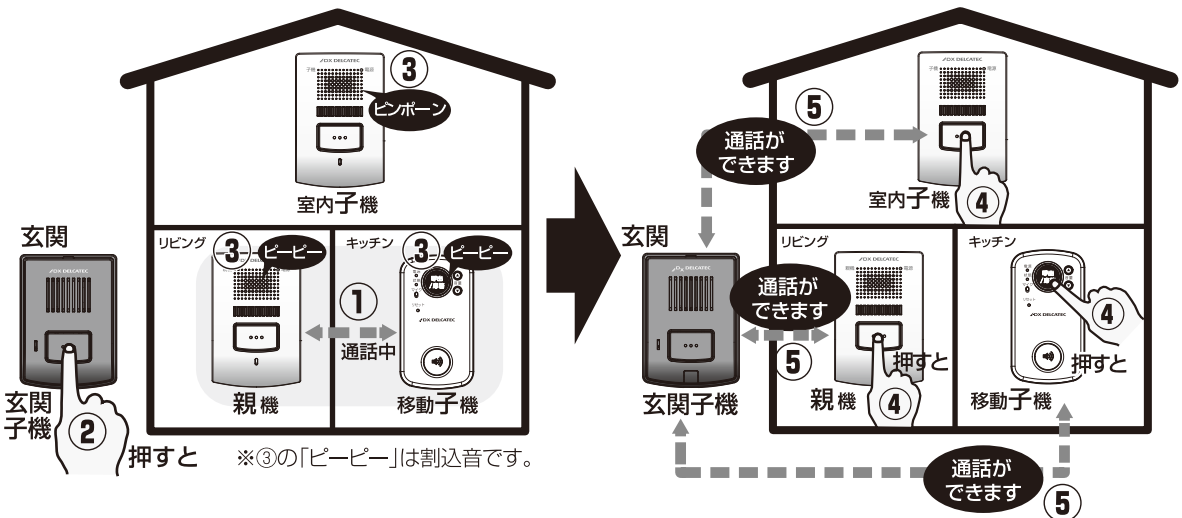
[例2]



ご注意

上記例のように、玄関子機を含めた通話の場合、同時に最大2系統で通話できます。
ただし、移動子機と室内子機を3台以上増設しても、屋内機器(親機、室内子機、移動子機)どうし
による2系統の通話はできません。(あらかじめ玄関子機には、優先的に1系統が割り当てられています)

室内間で通話中、玄関子機が押されると割込音が鳴り、玄関子機との通話に切り換えることができます。



※⑤の通話は④で一番早く押した所が通話できます。

ご注意

上記の場合、玄関子機が押されても、室内間でそのまま通話を継続することができます。
ただし、割込音が鳴っている間に、室内間の通話を強制終了しようと親機または移動子機の押ボ
タンを押すと、玄関子機とつながりますのでご注意ください。(玄関子機と通話せずに終了させたい
場合は、割込音が鳴り止んでから押ボタンを押して強制終了させてください)

はじめに

ご使用前に

使いかた

設定する

故障と判断する前に

仕様

相手の声の大きさをえる(受話音量)

通話中の音量を、4段階(大/中/小/最小)に調節することができます。【工場出荷時設定：大】

※ 音量は通話中のみ調整できます。

通話中のみ

通話中に、音量▲/▼ボタンを押す

▲ボタン…音量を上げる

▼ボタン…音量を下げる

ボタンを押すたびに音量が変わります。

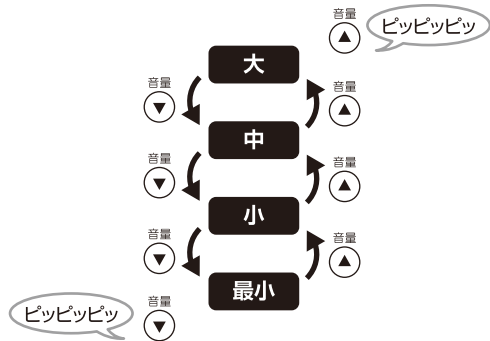
※ 音量「大」時に▲ボタンを押したとき、あるいは音量「最小」時に

▼ボタンを押したときは「ピッピッピッ」と警告音が鳴ります。

※ 警告音は調整できません。

で注意

音量ボタンを押した際の「カチ、カチ」というボタンの操作音や、「ピッピッピッ」という警告音が通話相手に聞こえる場合がありますが、故障ではありません。



着信音と呼出音の大きさをえる

着信音と呼出音の音量を、4段階(大/中/小/切)に調節することができます。【工場出荷時設定：大】

待機中、着信中または呼出中に音量▲/▼ボタンを押す

▲ボタン…音量を上げる

▼ボタン…音量を下げる

ボタンを押すたびに呼出音が鳴り、音量が変わります。

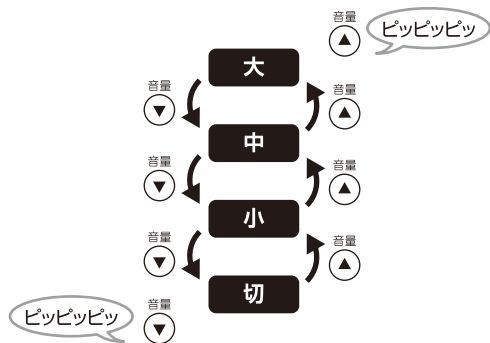
※ 音量「大」時に▲ボタンを押したとき、あるいは音量「切」時に

▼ボタンを押したときは「ピッピッピッ」と警告音が鳴ります。

ただし、着信中または呼出中は警告音が鳴りません。

※ 警告音は調整できません。

※ 着信音と呼出音の音量は別々に設定できません。



自動応答を設定する

自動応答を「入」に設定すると、親機（または室内子機）から移動子機を呼び出した際、呼出 / 応答ボタンを押さなくても、自動的に通話状態に切り換えます。【工場出荷時設定：切】

自動応答モードについて

- 通常応答モード… 呼出 / 応答ボタンを押して応答するモード⇒移動子機の状態ランプは待受中、消灯しています。
- 自動応答モード… 自動で通話が始まるモード⇒移動子機の状態ランプは待受中、赤点灯します。

<重要>

● 自動応答モードに設定する移動子機（または室内子機）は1台のみでお願いします
複数台でこの設定にしますと、自動応答モードにした各移動子機からの応答信号が、同時に親機に戻ってきますので相互に干渉してつながることがあります。
また、呼び出したい移動子機や室内子機以外につながることや、自動応答モードに設定していない移動子機や室内子機が呼び出せないことがあります。

⚠ 注意

- 着信音は鳴りません
呼び出した方の声が移動子機または室内子機から突然でますので、お年寄りや心臓の弱い方には大声で呼びかけないよう注意してください。
- 玄関子機から呼び出した場合、自動応答「入」に設定しても自動で通話に切り換わりません。玄関子機からの呼び出しに反応する場合は呼出 / 応答ボタンを押してください。

自動応答を「入」に設定するとき

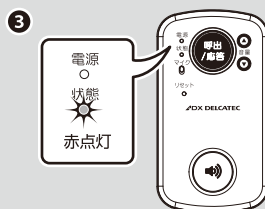
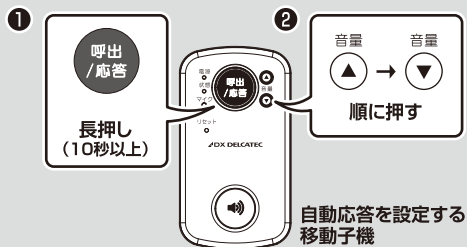
- ① 待機状態で呼出 / 応答ボタンを長押し（10秒以上）して、「ブー」と鳴り、電源ランプと状態ランプが黄点灯したら手を離す

「ブー」と鳴るまで押すと、すべてのランプが黄点灯します。

- ② すべてのランプが点灯している間（10秒以内）に音量▲ボタンを押して、続けて音量▼ボタンを押す

- ③ 設定が完了すると「ピー」と音が鳴る
(状態ランプが赤点灯します)

- 設定を「切」にするとき
設定「入」の状態ですぐ上記手順を行なうと、設定が「切」に切り換わり、状態ランプが消灯します。



⚠ ご注意 自動応答「入」時の電池の消耗について

自動応答を「入」に設定すると、消費電流が増えるため、通常より連続待受時間が短く（半分程度に）なります。

呼出音を変更する

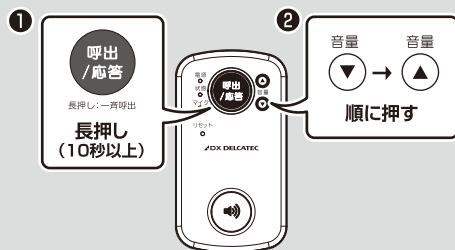
2種類の呼出音から1つ選択できます。

呼出音	①プププ プププ
	②ジャン、ジャン、ジャン、ジャン

呼出 / 応答ボタンを押して親機、室内子機などを呼び出すとき、ここで設定した呼出音が鳴ります。

呼出音を変更するとき

- ①待機状態で呼出 / 応答ボタンを長押し（10秒以上）して、「プー」と鳴り、電源ランプと状態ランプが黄点灯したら手を離す
「プー」と鳴るまで押すと、すべてのランプが黄点灯します。
- ②すべてのランプが点灯している間（10秒以内）に音量▼ボタンを押して、続けて音量▲ボタンを押す
※「ピー」と音が鳴り、呼出音を変更できる状態となります。
- ③音量▲ボタン、または音量▼ボタンを押して呼出音を変更する
※10秒間経過すると、ピピピと鳴ってキャンセルされます。
- ④呼出 / 応答ボタンを押すと、「ピー」と鳴って設定が完了します

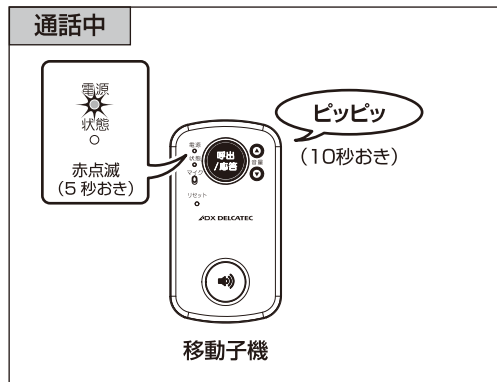
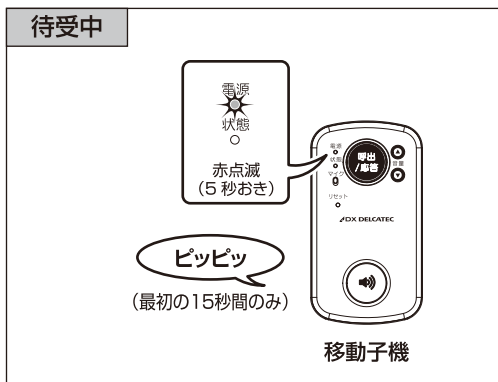


電池残量警告音について

移動子機の電池残量が少なくなったとき、警告音と電源ランプでお知らせします。

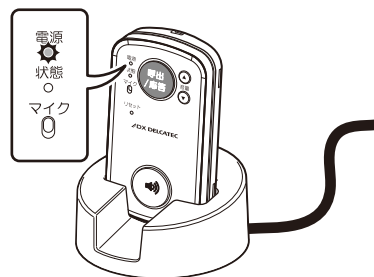
ご注意 警告音の音量は変更できません。

下図のように待受中、通話中にランプが赤点滅し、警告音が鳴ります。



警告音が鳴ったら、移動子機を充電台に戻し、充電してください。

ご注意 親機の電源が切れたり、親機との電波状況が悪くなると、状態ランプが赤点滅となり電池の消耗が激しくなります。



本体を充電台にカチッと音がするところまで置いて充電してください。

故障と判断するまえに

■移動子機

本製品のすべての通話は、親機を介して行ないます。正常に動作しない場合は、親機からの影響を受けている可能性がありますので、親機とあわせて確認してください。

症状	ここをチェック	対策・処置のしかた
呼出または通話できない	状態ランプが赤点滅していませんか？	<ul style="list-style-type: none"> ● 移動子機または親機を移動して(1分ほど待って)、移動子機の状態ランプが消える場所で再度、呼出/応答ボタンを押して確認してください。 ● 近くにDECT準拠方式のコードレス電話やPHSがある場合は、干渉となるため、離してお使いください。(➡4ページ)
	呼出ボタンを押して、状態ランプが点灯しますか？	<ul style="list-style-type: none"> ● 点灯しない場合、電池切れの可能性があります。
相手の声が小さい、または雑音がある、音が途切れる	電源ランプが赤点滅していませんか？	<ul style="list-style-type: none"> ● 電池残量が少なくなっています。充電台に置いて1時間以上充電してください。
	受話音量の設定が「最小」または「小」になっていませんか？	<ul style="list-style-type: none"> ● 「中」または「大」に設定してください。(➡13ページ)
	同時に話していませんか？	<ul style="list-style-type: none"> ● 相手が話し終えてから話してください。(通話は音の大きい方が優先されます。)
	移動子機の周囲の音が大きくありませんか？	<ul style="list-style-type: none"> ● 周囲の静かなところで使用してください。
	相手のマイク穴がふさがれていませんか？	<ul style="list-style-type: none"> ● マイク穴をふさがらないでください。
	本体を振動させていませんか？	<ul style="list-style-type: none"> ● 振動させないでください。振動がマイクに伝わりこちらの音が優先されます。
	音量ボタンを操作していませんか？	<ul style="list-style-type: none"> ● 音量ボタンを押すと、相手側にボタンの操作音が漏れ、通話が途切れたりする可能性があります。
	移動子機の上部(呼出/応答ボタン付近)を手でおおっていませんか？	<ul style="list-style-type: none"> ● 上部から手を離してください。
エコーや反響音(ハウリング)がする	マイク穴に異物(ホコリ、水たまりなど)が詰まっていますか？	<ul style="list-style-type: none"> ● 異物を取り除いてください。
	親機やその他の玄関子機、室内子機、その他の移動子機と距離が近すぎませんか？	<ul style="list-style-type: none"> ● 1m以上離れた場所で通話をしてください。
こちらの声が相手に聞こえない	相手の周囲音が大きくありませんか？	<ul style="list-style-type: none"> ● 周囲の静かなところで使用してください。
	マイクから離れすぎていませんか？	<ul style="list-style-type: none"> ● 移動子機に向かって(30cm以内)話してください。
着信音が小さいまたは聞こえない	着信音量の設定が「最小」または「切」になっていませんか？	<ul style="list-style-type: none"> ● 「中」または「大」に設定してください。(➡13ページ)

はじめに

ご使用前に

使いかた

設定する

故障と判断する前に

仕様

■移動子機（つづき）

症 状	ここをチェック	対策・処置のしかた
充電できない	電源ランプが消灯していませんか？	● いったん充電台から取りはずし、再度充電台に置いて本体を5分以上充電してください。また、1日充電しても、充電できない場合は故障の可能性がありますので、すぐに使用をやめて当社カスタマーセンターにご相談ください。（⇒7ページ）
	停電になっていませんか？	● 復旧するまでお待ちください。
	ACアダプターがコンセントから抜けていませんか？	● ACアダプターをコンセントにしっかりと差し込んでください。（⇒7ページ）
	ACアダプターのプラグが充電台から抜けていませんか？	● ACアダプターのプラグを充電台にしっかりと差し込んでください。
	充電台に正しく置いてありますか？	● 充電台に正しく置いてください。その際、電源ランプが赤点灯したことを確認してください。
	充電端子が汚れていませんか？	● 本体と充電台の充電端子の汚れを乾いた布や綿棒で拭き取ってください。
	周囲の温度が0℃以下または40℃以上の環境になっていませんか？	● 0℃～+40℃の範囲で充電を行なってください。
充電してもすぐに電池切れとなる	充電は十分に（電源ランプが緑点灯になるまで）されていますか？	● 充電台に置き、満充電（電源ランプが緑点灯）になるまで充電してください。 ● 充電電池の寿命が考えられます。なお、移動子機の電池は交換できませんので、分解せずに当社までご送付ください。また、処分する場合は当社にてリサイクル処理を行ないますので、リサイクル回収の指示にしたがってください。（⇒4ページ）
	状態ランプが赤点滅していませんか？	● 親機との通信状況が悪くなり電池の消耗が激しくなっていると考えられます。（⇒16ページ）
親機に登録できない	登録作業時に「ピッピッピッ」と音が鳴っていませんか？	● 登録作業が正常に完了していませんので登録作業をやり直してください。（⇒9ページ）
	親機に最大登録台数6台の子機が登録されていませんか？	● 親機の登録台数を確認してください。 ● 子機を交換、または紛失して親機の登録情報を削除していない場合は、親機とすべての子機の登録を削除した後、すべての子機を再登録してください。（⇒9ページ）

はじめに

ご使用前に

使いかた

設定する

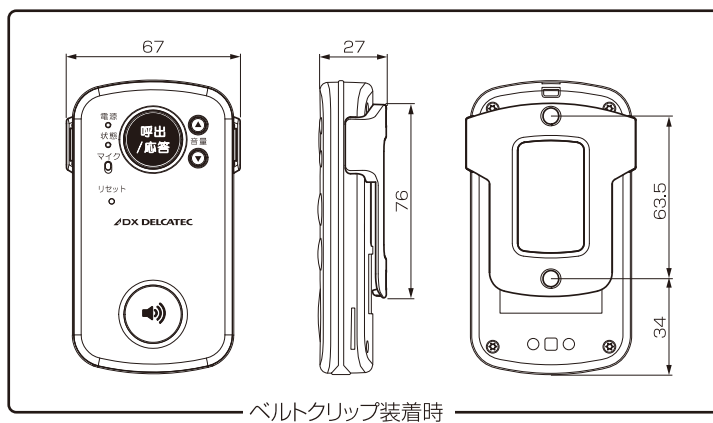
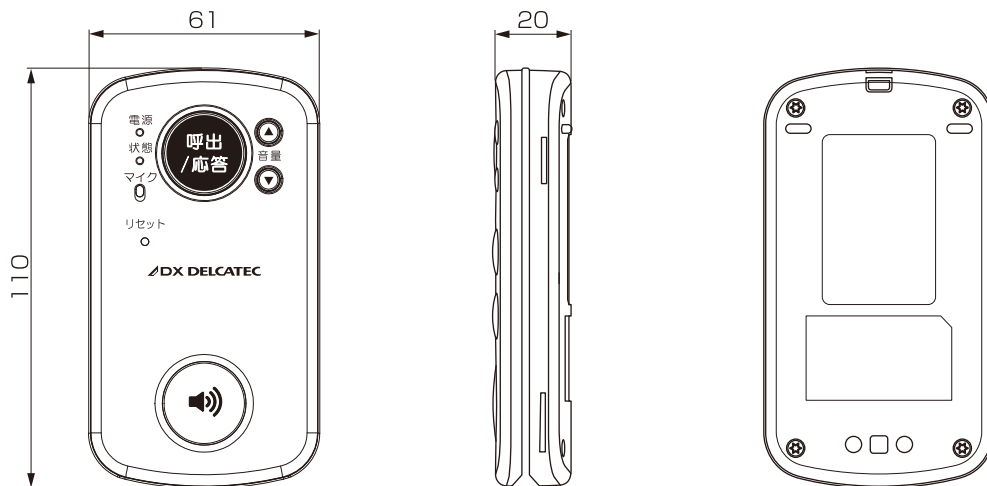
故障と判断する前

仕様

外形寸法

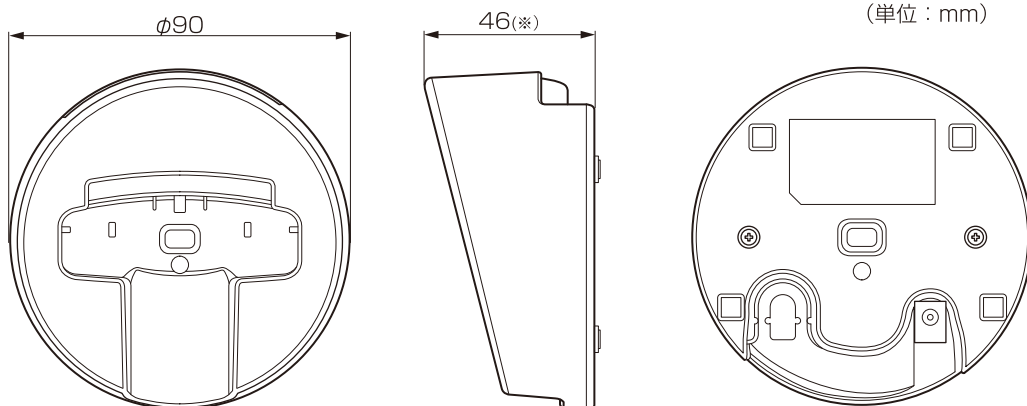
■移動子機 (本体)

(単位：mm)



■充電台

(単位：mm)



※充電台に本体を置いたときの高さは約120mmになります。

はじめに

ご使用前に

使いかた

設定する

故障と判断する前に

仕様

仕様

■電気性能規格

品名	移動子機	
型番	DWM10A2	
標準規格	ARIB STD-T101準拠	
周波数 (MHz)	1,895.616~1,902.528(1.728MHz step)	
通信方式	時刻分割複信方式	
通話可能距離 (m)	100(見通し)	
増設子機の登録台数	親機に対して最大6台	
防水性能	IPX4(防沫形)(充電台は除く)	
電源	子機移動	リチウムイオン電池 DC3.7V 325mAh
	充電台	専用ACアダプター 入力: AC100V(50/60Hz) 出力: DC5V 0.5A
消費電力 (W)	1.4(充電時)	
連続通話時間 (h)	約5(注1)	
待受時間 (h)	約72(自動応答モード「切」時)(注1)	
充電時間 (h)	約3	
使用温度範囲 (°C)	0~+40(充電環境を含む)	
外形寸法 (mm)	本体: 110(高さ)×61(幅)×20(奥行) 充電台: 46(高さ)×φ90	
質量 (g)	80	
付属品	ACアダプター(コード長1.5m) (UV305-0505-JDXA-0007)×1個 ベルトクリップ×1個 充電台 ×1個	

(注1) 満充電の場合

- 移動子機のみを補修用部品としてご注文いただく際は「DWM10A2 移動子機」とご指定ください。
- 充電台のみを補修用部品としてご注文いただく際は「XPWM0001 充電台」とご指定ください。

※この製品を処分するときは、移動子機はリサイクル処理をしてください。(4ページの「本製品の処理について」をご覧ください)
移動子機以外は地方自治体のルールにしたがって処理してください。

■動作仕様

呼出	親機、移動子機、室内子機へ
通話音量/着信音量 (通話音量と着信音量は非連動)	通話 4段階(大/中/小/最小) 着信 4段階(大/中/小/切)
呼出音	2種類から選択
自動応答	有
通信不可時の警告 (ランプと警告音)	有
移動子機の電池切れ警告 (ランプと警告音)	有

規格および仕様は改良により、予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

保証書

型番		DWM10A2	
ご住所・ご店名		電話() -	
お名前	ふりがな	様	
お客様	ご住所		
お買上年月日		保証期間	お買上日から
年 月 日		1 年 間	

※本書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管ください。

●無料修理規定

1. 本保証書は、お買い上げから下記保証期間内に故障した場合、無料修理規定により、当社が責任をもって無料修理を行うことを約束するものです。(消耗部品は除く)したがって、この保証書によって保証書を発行しているもの(保証責任者)、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
2. 保証期間中の修理などアフターサービスについてご不明な場合は、お買い求めの販売店、当社営業所またはカスタマーセンターにお問い合わせください。なお、商品を直接当社へ送付した場合の送料などはお客様のご負担とさせていただきます。また、保証期間経過後の修理についても、お買い求めの販売店、当社営業所またはカスタマーセンターにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。
3. 保証期間中、取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で故障した場合には、お買い求めの販売店を通じて無料修理いたしますのでお申し付けください。
4. 次のような場合には保証期間内でも有料修理となります。
 - ①ご使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障および損傷。
 - ②お買上げ後の取り付け場所の移動、輸送、落下などによる故障および損傷。
 - ③火災、地震、噴火、洪水・津波などの水害、落雷、その他の天変地異、戦争・暴動による破壊行為、公害、塩害、ガス害、ねずみや昆虫、鳥など動物の行為による損傷、指定以外の使用電源(電圧、周波数)や異常電圧による故障および損傷。
 - ④塗装の色あせなどの経年劣化や、使用に伴う摩擦などにより生じる外観上の現象。
 - ⑤用途以外(例えば車両、船舶への搭載など)に使用された場合の故障および損傷。
 - ⑥本保証書を提示・添付されていない場合。
5. 本保証書は日本国内においてのみ有効です。(This Warranty is valid only in Japan.)
6. 期間中の転居、贈答品、その他の理由によりお買い求めの販売店に修理が依頼できない場合には、当社カスタマーセンターまたは当社営業所にご相談ください。
7. お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。

カスタマーセンター ☎0120-941-542 携帯電話・PHS・一部のIP電話で左記番号がご利用になれない場合 03-4530-8079
 (受付時間 9:30~17:00 夏季・年末年始休暇は除く)
お昼時間土日祝日もご利用ください! ホームページアドレス <http://www.dxantenna.co.jp/>
DXアンテナ株式会社 本社/〒652-0807 神戸市兵庫区浜崎通2番15号 (1404)

はじめに

使用前に

使いかた

設定する

故障と判断する前に

仕様